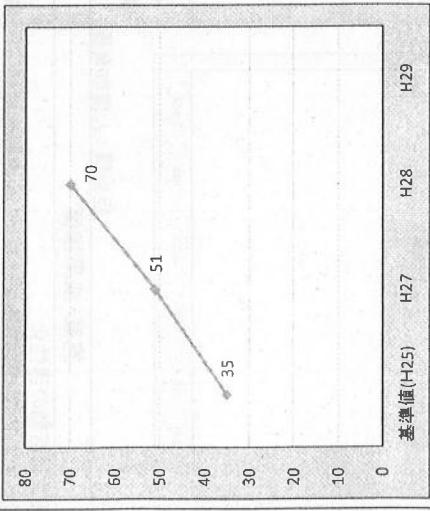


番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
46	行動につながる人権教育の推進	自主的な活動の推進 中・高生による人権交流集会参加人数 	<p>事業目的</p> <p>中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通して、人権尊重の理念について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てる。</p> <p>中・南・西の各ブロックで中・高生等が交流しながら、人権教育の理念についての理解を深める自主的な活動を推進した。また、「中・高生による人権交流集会」には477名の参加者があり、講演後の分科会では、「セクシャルマイノリティ〜性別違和を考へる〜」「私たちは世界人〜引いていませんか「心の国境」〜」「いじめについて」のテーマで各ブロックの活動の発表や意見交換が行われた。さらに、全体会では分科会の報告発表表が行われた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>412</td> <td>371</td> <td>358</td> <td>339</td> <td>477</td> <td>440</td> <td>450</td> <td>108.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p>(成果)各ブロックの生徒部会や実行委員会では、現地研修や講演会等を通して積極的な交流や意見交換が行われた。交流集会にも477名の参加があり、校種を超えた活発な意見交換が行われ、人権の意義や重要性についての理解が深まるとともに、人権問題を鋭く見抜く感性の高まりが見られた。</p> <p>(課題)更に多くの生徒が参加して、共に学び交流が図られるように、4月の中・高生人権教育主事会で積極的に広報するとともに、ニーズの高い内容や日程・実施会場の工夫を図っていく必要がある。</p> <p>交流会の進め方や生徒が参加しやすい内容や日程・会場を工夫・改善し、多くの学校と生徒の参加者が得られるようにする。中・高生等が一堂に会して人権について語り合うことを通して、人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた実践力を身に付けることができるように取組を進めていく。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校において、美術や音楽等の優れた芸術に触れる機会を充実させることで、子どもたちの豊かな想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげる。</p>	基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	412	371	358	339	477	440	450	108.4%		
基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
412	371	358	339	477	440	450	108.4%																
47	豊かな感性を育む芸術文化活動の推進	芸術文化活動の活性化 学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数 	<p>事業目的</p> <p>1 文化庁事業：次代を担う文化芸術体験事業 巡回事業 (派遣校数) 平成27年度 30校、平成28年度 41校 派遣事業 (派遣校数) 平成27年度 21校、平成28年度 16校 派遣回数 (派遣校数) 平成27年度 2校、平成28年度 4校</p> <p>2 徳島県児童演劇地方巡回公演</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値(H25)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,597</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>11,577</td> <td>8,341</td> <td>10,000</td> <td>83.4%</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:回)</p> <p>(成果)文化庁事業・県費事業ともに、県作成の「文化教育人材バンク」を活用し、学校での芸術家等の活動を実施したが、小規模校が多かったことと、申請時期が早まったこともあり、申請校が減少し、目標値を上回る成果は出せなかつた。</p> <p>(課題)機会ある毎に優れた芸術に触れる機会である本事業の内容や実施効果について広報してきだが、申請時期の早期化への対応についても周知する必要がある。</p> <p>今後とも、学校でのニーズの把握に努め、活動内容の質の向上、実施効果の広報等により、新規実施校の開拓を含め、更なる学校での芸術文化活動の振興を図るとともに、積極的に小中高等学校へ働きかけを行い、制度の活用について促していきたい。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校において、美術や音楽等の優れた芸術に触れる機会を充実させることで、子どもたちの豊かな想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげる。</p>	基準値(H25)		H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	10,597	-	-	11,577	8,341	10,000	83.4%	10,000	10,000		
基準値(H25)		H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)															
10,597	-	-	11,577	8,341	10,000	83.4%	10,000	10,000															

基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																			
<p>事業目的</p> <p>教育に対する理解を深めるため、「とくしま教育の日(週間)」を中心に、学校や市町村、教育団体等で、様々な事業を実施している。さらに広く事業を普及、啓発するためにシンボルマークを活用した広報を展開する。</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>																		
<p>取組状況(H28年度分)</p>	<p>1 市町村、教育機関や民間団体との協力・連携のもと、平成28年度は930事業を取りまとめた。</p> <p>2 シンボルマークを活用し、ホームページを効果的に用いた広報に努めた。</p> <p>3 保護者向け広報紙の発行時期を変更し、実施事業の効果的な広報に努めた。</p>																		
<p>評価</p>	<p>(単位：－)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シンボルマークを使った広報・啓発</td> <td>－</td> <td>効果的な事業の実施</td> <td>効果的な事業の実施</td> <td>事業の充実</td> <td></td> <td></td> <td>事業の充実</td> <td>事業の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 学校・家庭・地域の連携を深めるとともに、開かれた学校づくりを推進するため、県立学校、小中学校においてオーブンスクールが開催されたほか、読書や文化祭を通して保護者や地域との交流会などの学校行事が数多く開催された。</p> <p>(課題) 効果的な事業の実施について、各関係団体、関係機関に対してさらに協力を求める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	シンボルマークを使った広報・啓発	－	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施	事業の充実			事業の充実	事業の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)											
シンボルマークを使った広報・啓発	－	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施	事業の充実			事業の充実	事業の充実											
<p>今後の取組方針</p>	<p>シンボルマークやホームページ、パネルを活用する等、事業の一体的な広報・啓発に努めるとともに、より効果的な事業を実施する。</p>																		
<p>事業目的</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>																		
<p>取組状況(H28年度分)</p>	<p>未来を担う子供たちに、放課後や週末等の豊かな学びの場を提供するため、地域住民や豊富な社会体験を持つ外部人材等の協力を得て、学校・家庭・地域が連携して地域全体で教育に取り組む体制を整備する。</p> <p>子供の豊かな学び推進研修会を実施し、実践報告や関係者の意見交換を行い、参加者の情報交換やスキルの向上を図った。また、社会教育研修大会や社会教育ファシリテーター養成講座を開催し、社会教育に関する情報の共有化や人材育成に努めた。</p>																		
<p>評価</p>	<p>(単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td> <td>－</td> <td>－</td> <td>51</td> <td>70</td> <td></td> <td>116.7%</td> <td>60</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 地域での放課後等における多様な学びの場づくりが、放課後子供教室などで推進されている。</p> <p>(課題) 地域人材の発掘やネットワーク化が必要である。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	35	－	－	51	70		116.7%	60	75
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)											
35	－	－	51	70		116.7%	60	75											
<p>今後の取組方針</p>	<p>各事業間の連携を図るとともに、地域の人材や団体が交流し、新たな連携が期待できるような機会を創出する。</p>																		



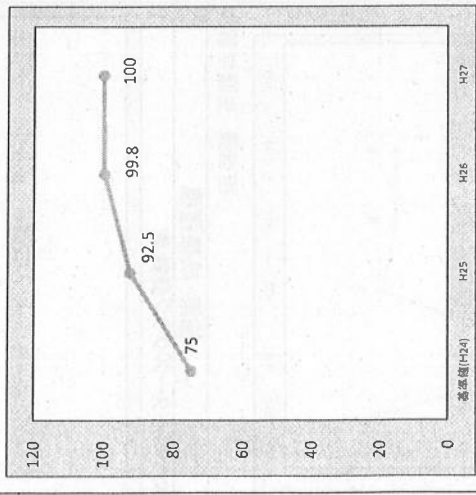
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																														
52	幼稚園・家庭・地域の連携の推進 幼児期の成長を支える取組の推進	家庭の教育力の向上 家庭教育に関する学習機会を提供する講座数 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>数</td><td>7</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>10</td></tr> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	数	7	13	12	13	10	事業目的 地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援の理論・技術の習得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。 平成23年度から保護者の身近な家庭教育支援者である祖父母世代を対象に、昔の子育ての知恵や、現在の子育て状況について学習する養成講座を開講した。講座内容に、子や孫との活動（レクリエーション）を取り入れるなど、より実践的な内容となるよう工夫した。平成28年度は6講座を開催し38人の受講があった。また、父親の家庭教育参画やワークライフバランス意識の高揚を図るための講座も行い、36組74人の受講があった。 <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H28)</th><th>目標値(H28)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>-</td><td>7</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>10</td><td>130.0%</td><td>10</td><td>10</td></tr> </table> (単位：回) 評価 (成果) 幅広い層を対象に、家庭教育について学習することができた。 (課題) ニーズや時代に対応した講座内容となるよう工夫していく。 今後の取組方針 子供の安全や防災などの新たな内容を取り入れ、充実を図る。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	7	13	12	13	10	130.0%	10	10
年度	H25	H26	H27	H28	H29																												
数	7	13	12	13	10																												
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																									
-	7	13	12	13	10	130.0%	10	10																									
53	幼稚園・家庭・地域の連携の推進 幼児期の成長を支える取組の推進	家庭の教育力の向上 家庭教育推進学習ファシリテーター(推進リーダー)を養成する講座の開催回数 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>数</td><td>6</td><td>6</td></tr> </table>	年度	H28	H29	数	6	6	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 親の学びを支援する学習機会の充実を図ったり、家庭教育支援を牽引していく人材を養成していくなどの取組を通じて、家庭教育力の向上と社会全体で家庭教育を支援する気運の醸成を図る。 親同志が交流しながら、子育ての悩みを共有したり、自分の子育てを振り返るとともに、子育てについて主体的に学ぶことを目的としたワークショップで使用する「とくしま親なびプログラム集」を作成した。このプログラム集を活用したワークショップを進行する人材を育成するため、「とくしま親なびプログラム」ファシリテーター養成講座を3日間6講座で実施した。 <table border="1"> <tr><th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H28)</th><th>目標値(H28)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>6</td><td>6</td><td>100.0%</td><td>6</td><td>6</td></tr> </table> (単位：回) 事業目的 親の学びを支援する学習機会の充実を図ったり、家庭教育支援を牽引していく人材を養成していくなどの取組を通じて、家庭教育力の向上と社会全体で家庭教育を支援する気運の醸成を図る。 評価 (成果) 「とくしま親なびプログラム集」を作成し、県内の保育園や幼稚園、小中等学校等に配布した。また、養成講座には35名の申込みがあり、修了した32名を「とくしま親なびリーダー(ファシリテーター)」として委嘱した。 (課題) 「とくしま親なびリーダー」の活躍の場と、親の学びを支援する学習の機会を提供するため、「親なびリーダー」派遣制度について、広く周知し、活用してもらう必要がある。 今後の取組方針 「とくしま親なびリーダー(ファシリテーター)」を養成するとともに、派遣制度を広く活用してもらえよう制度等の周知を図る。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	-	-	-	6	6	100.0%	6	6						
年度	H28	H29																															
数	6	6																															
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																									
-	-	-	-	6	6	100.0%	6	6																									

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
54	学校・家庭・地域の連携の推進	家庭の教育力の向上 「早寝 早起き 朝ごはん」に「エコ活」表彰者(団体含む)数 	<p>「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめとした、子供の基本的な生活習慣を育成し、生活リズム確立の気運を高めるため、夏期休業を中心とした「早寝 早起き 朝ごはん」として「早寝 早起き 朝ごはん」として「早寝 早起き 朝ごはん」に関する取組事例を募集し、優れた取組を表彰する。</p> <p>「早寝 早起き 朝ごはん」運動と節電を意識したエコ活動により、夏の暑さを乗り切った工夫ある取組をまとめた「活動事例」に16点の応募があり、またエコ活動や節電意識を高める標語・キヤッチフレーズには400点の応募があった。優秀者を8名表彰した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>21</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成率(H28)</td> <td>160.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">目標値(H28)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="5">目標値(H29)</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 活動事例16点、標語400点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。優秀者も目標値を超える8名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。</p> <p>(課題) 活動事例の応募者数が減少傾向にある。</p> <p>「早寝 早起き 朝ごはん」運動のさらなる推進を図るため、新たにPOPを募集し、啓発にも役立てる。</p>	(単位：人)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	2	21	7	8	8	5	達成率(H28)					160.0%	目標値(H28)					5	目標値(H29)					5
(単位：人)																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																		
2	21	7	8	8	5																																		
達成率(H28)					160.0%																																		
目標値(H28)					5																																		
目標値(H29)					5																																		
55	とくしまの教育力の活用	学校サポーターズクラブ登録数 	<p>地域による学校支援をさらに促進するため、本県ならではの取組として学校サポーターズクラブ認証制度を推進し、活動の主体となる地域の各種住民団体の連合体の成立をめざし、「地域ぐるみの学校支援事業(学校支援地域本部)」の展開と併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>「小学校区又は中学校区」の婦人会、青年団、自治会、老人クラブ、ボランティアグループ等の地域団体を連合体として、地域で学校支援に取り組む組織である「学校サポーターズクラブ」として、平成28年度は新たに5クラブを認証し、認定証とフラッグを授与した。このことにより、累計で24市町村79クラブとなった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：市町村)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H26)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>79</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td colspan="5">達成率(H28)</td> <td>103.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="5">目標値(H28)</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td colspan="5">目標値(H29)</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 全市町村79のクラブを認証した。学校地域支援本部と併せて、地域による学校支援活動の広がりを見せた。</p> <p>(課題) さらなる制度の周知と推奨が必要である。</p> <p>学校を支援している団体やグループ等のネットワークづくりを促進していく上で、認証制度が有効であることを周知するとともに、認証にあたっての取組を支援する。</p>	(単位：市町村)						基準値(H26)	H25	H26	H27	H28	H29	26	-	-	-	79	76	達成率(H28)					103.9%	目標値(H28)					76	目標値(H29)					88
(単位：市町村)																																							
基準値(H26)	H25	H26	H27	H28	H29																																		
26	-	-	-	79	76																																		
達成率(H28)					103.9%																																		
目標値(H28)					76																																		
目標値(H29)					88																																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	取組状況(H28年度分)	評価	今後の取組方針
56	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 「県立学校地域開放プラン」の展開	事業目的 県立学校において、学校の特色を活かした地域貢献活動の取組を促進する。	取組状況(H28年度分) 学校が主体となって地域に開放する行事イベント等、すべての県立学校において実施した。 ・学校開放事業（オープンスタンススクール、人権・教育関係講演会、地域防災行事、清掃奉仕活動等）	評価 (成果) 学校が実施する地域開放、地域貢献活動により、県民の教育に対する理解を深め、学校教育の振興への気運醸成に貢献できた。 (課題) 地域交流から地域貢献への発展を促進させる必要がある。	今後の取組方針 学校における地域開放、地域貢献活動を発展させ、地域と学校のつながりを一層深める。また、「とくしま教育の日」シンポリアルマークやホームページ、パネルを活用するなど、積極的な広報に努める。
		担当課 教育政策課				
57	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 学校評価(学校関係者評価)結果を広く公表している学校の割合	事業目的 学校における学校評価の目的は、各学校が組織的・継続的な改善を図り、学校評価結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることである。 このことととも、公立の幼稚園、小・中・高及び特別支援学校における学校評価結果について、学校便りや学校のホームページへの掲載等の方法により、保護者や地域住民等に対して広く内容が周知され、学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、地域とともにある学校づくりに資する。 県単独調査として平成27年度間における学校評価の実施状況を調査した。調査結果は、県のホームページに掲載するとともに市町村教育委員会及び各学校に通知し、学校評価の充実改善の取組を促した。 平成28年度間における学校評価の実施状況については、平成29年度に調査する予定である。	取組状況(H28年度分) 75	評価 (成果) 公立学校における学校評価結果の公表に關して、広く公表した学校は学校関係者評価では、平成25年度間が92.5%であり、平成27年度間は100%となった。なお、平成28年度間における状況については、平成29年度に調査予定である。 (課題) 平成27年度間の学校評価(学校関係者評価)結果の公表率に關しては100.0%となったことから、これまでの取組を継続・充実することが望まれる。	今後の取組方針 学校における学校評価の目的は、各学校が組織的・継続的な改善を図り、学校評価結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることである。 このことととも、公立の幼稚園、小・中・高及び特別支援学校における学校評価結果について、学校便りや学校のホームページへの掲載等の方法により、保護者や地域住民等に対して広く内容が周知され、学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、地域とともにある学校づくりに資する。
		担当課 学校教育課				

(単位：－)

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
展開	展開	全校展開	取組内容の充実	取組内容の充実		△	取組内容の充実	取組内容の充実



(単位：%)

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
75	92.5	99.8	100	H29.12以降 判明		△	100	100

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
58	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり コミュニケーションスクールモデル校数(累計)	<p>事業目的 本事業は、保護者や地域住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すため、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり(学校運営協議会制度)を推進するものである。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>25</td> <td></td> <td>92.6%</td> <td>27</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:校)</p> <p>取組方針 取組の成果等を広報する場(あわ教育発表会)を設定し、より一層普及・推進を進めるとともに、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを開催し、各市町村教育委員会及び学校の理解を促す説明を行う。</p> <p>評価 (成果)モデル校では、保護者・地域住民と学校との信頼関係が深まり、風通しの良い学校運営が図られている。本事業での成果を経て、新たに貞光中学校に学校運営協議会が設置された。</p> <p>今後の取組方針 (課題)地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりをより一層推進するためには、モデル事業の継続した取組とともに、新たにモデル校として、また指定校として取り組んでいく市町村教育委員会の理解が必要である。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	13	21	21	22	25		92.6%	27	30
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
13	21	21	22	25		92.6%	27	30													
59	とくしまの教育力の活用 社特とくしまの教育力の活用 のある学 会の変 化に 対し た魅 力あ る学 校づ くり	開かれた学校づくり 「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)	<p>事業目的 本事業は、各校の先進的な体験活動や研究活動を通して、特色ある教育活動のレベルアップとグローバル人材の育成を図るため、全国そして世界を目指した徳島ならではの学校独自の事業を支援することにより、激動の社会を切り開き、徳島県を牽引する能力を持つ人材を育成する。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>18</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>18</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:事例)</p> <p>今後の取組方針 【チャレンジ】実施校:城西高校神山分校「地域連携による神山魅力化構想」三好高校「中山間地の特性を利用したイチゴ栽培の活性化」 【スタンダード】実施校:阿南工業高校「あこうバンブーミックス 宝の山プロジェクト」、那賀高校「学校と地域をつなぐ絆プロジェクト」、吉野川高校「吉野川アグリアートプロジェクト」 【グローバル】実施校:つるぎ高校「Mimakara世界へ駆け出す地方創生プロジェクト」(1年目)の6校が実施校として認定され、学校独自の計画に沿って1年間を通じた活動を実践した。</p> <p>評価 (成果)全国規模の発表会やコンクールへの参加を義務づけたことにより、各校は、全国そして世界へ活動を発信できるようになり、多様な大会等へ積極的に応募するとともに、各分野で全国大会への出場を果たした。また、実績を残したことで、次年度以降の意欲高揚に繋げることができた。</p> <p>今後の取組方針 (課題)全国大会出場権獲得のための、県予選や中国・四国予選で惜しくも出場権を逃したケースも多い。その取組の評価について検討する。</p> <p>今後の取組方針 大学や企業及び研究機関との連携を進化させることで、全県的な特色ある教育活動のレベルアップを図り、全国に発信できる徳島ならではの取組を行う日本一のオンリーワンハイスクールをめざすとともに、活動内容を広く県民へアピールできるように取り組む。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	4	10	13	18		100.0%	18	22
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
0	4	10	13	18		100.0%	18	22													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
60	社特色くしまの教育力の活用 に化学の対峙した魅力ある学校づくり	開かれた学校づくり 「NIPPON探究スクール事業」実施校のうち、各分野の全 国大会に出場した取組(累計)	<p>本事業では、我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」、日本の中の徳島の政治・経済・外交を探究する学校を育成することともに、生徒自身が「公共」について考える機会を設ける。</p> <p>認定校2年目の池田高等学校が、第60回全国学芸サイエンスコンクール人文社会科学学術部門に応募し、金賞となつた。認定校1年目の那賀高等学校は、「農村舞台での人形浄瑠璃公演活動から阿波の政治・経済を探究する」をテーマに、地域における人形浄瑠璃や農村舞台の意義と役割について、過去へ遡って一つ一つ歴史を紐解いていくことにより、中山間地域に多く所在する課題を探究し、ホームページ等で公表している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位: 事例)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 池田高等学校は、文献調査だけでなく専門家からの助言を受けて養蚕に取り組みなど、文理融合のアプローチを実施してきた。全国学芸サイエンスコンクール人文社会科学学術部門に応募し、金賞となった。那賀高等学校は、取組1年目であるが、農村舞台で人形浄瑠璃公演活動に取り組むとともに、地域の課題解決に向けて探究し、積極的に情報発信を行った。</p> <p>(課題) 人文科学分野の調査研究手法の指導や生徒の歴史的思考力等を培う指導を行う必要があるため、地理歴史科(公民科)教員の積極的な参画を促す必要がある。</p> <p>「スーパーオンラインワンハイスクール事業」とともに生徒活動発表会を開催し、活動パネル展を開催するなど、各学校の取組に対する広報等について推進する。次年度に向けた事業の広報にも取り組む。</p>	(単位: 事例)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	0	1	2	3	3	100.0%	3	4
(単位: 事例)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
0	0	1	2	3	3	100.0%	3	4																		
61	幼児期の成長を支える取組の推進	幼児教育の充実 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携への取組状況	<p>事業目的 本事業は、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組む。</p> <p>取組状況(H28年度分) 「徳島県幼児教育振興アクションプランII」に基づき、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる観点からの幼児教育の充実、小学校との連携・接続の推進、幼稚園・保育所・認定こども園等の連携の推進に取り組んだ。</p> <p>幼稚園教諭等に対する各種研修において、発達や学びの連続性を踏まえた指導の在り方や小学校との連携・接続の具体的な取組方法について指導を行うとともに、幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクト指定地域に対する指導・助言と研究成果の普及を行った。</p> <p>幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との連携・接続の状況について調査し、その実態把握に努めるとともに、各市町村に対して情報提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位: 一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の必要性についての理解は進み、幼稚園・保育所・認定こども園において、幼児教育の充実に向けた取組が進められている。幼児・児童の交流活動も進められ、幼児・児童の成長や互いの教育活動についての共通理解が図られるとともに、円滑な接続が図られている。</p> <p>(課題) 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指す取組の更なる充実が必要である。幼小連携型認定こども園や保育所と小学校との連携の充実を図っていく必要がある。</p> <p>研修や施設訪問を通して、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる観点からの教育・保育の充実と小学校教育との円滑な接続の在り方について指導・助言を行う。</p> <p>県内の市町村に対して幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携・接続に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を各市町村に情報提供するとともに、指定事業「学びのかけ橋プロジェクト」の研究成果を普及する。</p>	(単位: 一)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	一	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
(単位: 一)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
一	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進																		

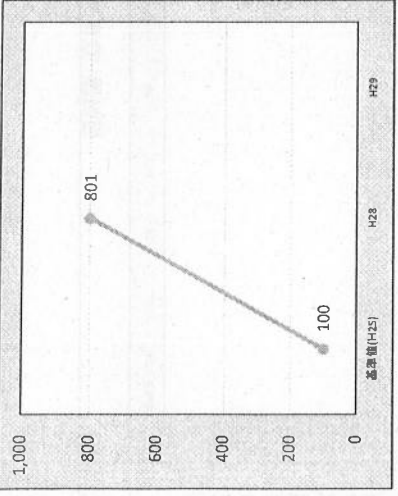
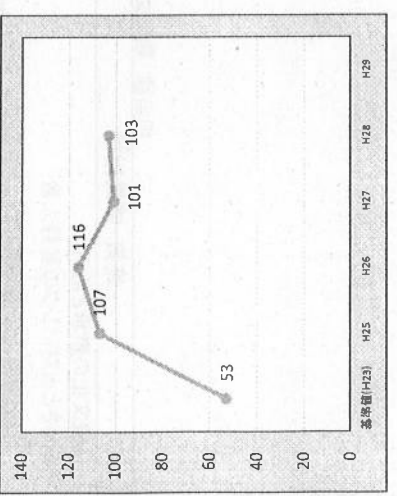
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
62	幼児期の成長を支える取組の推進	<p>預かり保育の充実 保育記録等の活用による指導計画・保育内容の評価・改善</p> <p>担当課 学校教育課</p>	<p>本事業は、幼稚園において教育課程に係る教育時間の終了後等に、地域の実態や保護者の要請に応じて、希望者を対象に行う預かり保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通して一人一人の幼児の状態を把握し、幼児自身や心身の安定を保ち、無理なく過ごせるように、個に応じた保育内容や環境への工夫・改善等の質的向上を図ることを推進する。</p> <p>「徳島県幼児教育振興アクションプランII」に基づき、幼児の心身の負担に配慮し、家庭生活との連続性を図った預かり保育の充実を推進した。</p> <p>学校訪問において預かり保育の実施状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行うとともに、各種研修において、幼児一人一人の生活リズムを考慮した柔軟な保育と指導計画の作成等について指導した。</p> <p>幼稚園設置市町に対して預かり保育に関する実態調査を行い、現状把握するとともに、幼稚園設置市町への情報提供を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(成果) 保育記録等の活用によって、教職員間で一人一人の幼児の状態についての共通理解が図られ、個に応じた保育内容や環境が整えられるよう各園で努めている。</p> <p>(課題) 人員確保や指導体制の整備及び施設の整備が必要である。</p> <p>実態調査による実施状況の把握と、それを踏まえた情報提供や協力依頼のために、幼稚園設置市町への訪問指導を継続する。「徳島県幼児教育振興アクションプランII」に基づいた預かり保育の充実を推進する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
-	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進													
63	社会教育における人権教育の充実	<p>生涯学習の視点に立った人権教育の充実 人権の視点に立ったサークル活動や交流の回数</p> <p>担当課 人権教育課</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>人権の視点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図るとともに、「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」を組織し、各学校(園)等に派遣、活動することで人権教育の推進に資する。</p> <p>大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を図る中、4大学6サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>100.0%</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(成果) 人権の視点で活動しているサークルを、主に幼児・児童の人権交流活動に派遣し、人権教育のより一層の充実を図るとともに、大学生の人権研修についても実施し、人権意識の高揚を図った。</p> <p>(課題) 各学校(園)からの要請に応じて、大学サークル等が十分に活動できるよう更に連携を進めていく必要がある。</p> <p>各大学のニーズに応じた交流研修会を計画し、大学サークルの相互交流と子どもたちとの交流の充実を努める。また、市町村教育委員会、各学校(園)に対し、それぞれの既存の行事等にこの事業の活用を推進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	5	7	7	7	10	10	100.0%	10	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
5	7	7	7	10	10	100.0%	10	15													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
64	社会教育における人権教育の充実	生涯学習の視点に立った人権教育の充実 生涯にわたる人権に関する学習機会の充実 担当課 人権教育課	<p>同和問題をはじめ様々な人権問題の解決と識字学級相互の交流及び学校や社会教育団体等との交流活動を積極的に推進するとともに、社会啓発活動の促進を図ることを目的とする。</p> <p>5市1町15学級の識字学級が活動している。識字学級では、文字の習得のみにとどまらず、生活や文化を豊かにするための学習内容を盛り込むなどの生涯を見通した取組が行われている。また、識字学級間、学校、社会教育団体等との交流活動。さらには、外国人や障がい者等の参加に伴って、同和問題をはじめ様々な人権問題についての学習が行われており、人権啓発展等でその成果の発表・展示も行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>【評価】文字の習得に加えて、生活や文化を豊かにする取組や学校や識字学級間、学校、社会教育団体等との交流が行われる。識字学級生作品展示では、一年間の活動の成果を作品として表現し、各識字学級同士の交流と県民への啓発につながる展示会となった。</p> <p>【課題】児童生徒等との交流を図り、識字学級に対する理解を深めるとともに、教職員、高齢者や外国人の方など、識字学級の参加者は共学者として、相互に学び合うという姿勢を大切にしていくため、今後も活動に対する理解をもった参加者を増やしていくことが重要となる。</p> <p>【今後の取組方針】「差別の現実から深く学び、人権尊重社会の実現に向けた取組の場」として歴史的にも存在価値は高い。今後とも生涯にわたる学習機会への充実とともに、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向けての理解を深めるために、学校や社会教育団体等との交流を積極的に実施し、活動の更なる充実を図っていく。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進													
65	地域の教育に貢献する人材の育成	人権教育推進者の養成 社会教育における人権教育推進者の養成数 担当課 人権教育課	<p>事業目的 徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における人権教育の推進を図るため指導者の育成、確保等を総合的、体系的に図る指導者研修会を実施する。</p> <p>取組状況 (H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>50</td> <td>116.0%</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>【成果】6月に「社会教育における人権教育指導者研修会」を2回開催し、外部有識者の意見を頂き、各市町村の諸事業推進に役立つことができた。また、体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <p>【課題】研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修内容の工夫改善が必要である。また、各市町村の諸事業にどのように反映したかを把握するために、情報を更に共有できる研修会を実施していく。</p> <p>【今後の取組方針】毎年約50名の推進者が参加しているが、研修の成果を広めることができよう、参加者の出席についても引き続き働きかけるとともに、個別人権課題についての研修や体験的参加型研修の内容の充実及び効果的な人権教育・啓発について情報交換を行い、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげる。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	48	54	55	54	58	50	116.0%	50	50
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
48	54	55	54	58	50	116.0%	50	50													

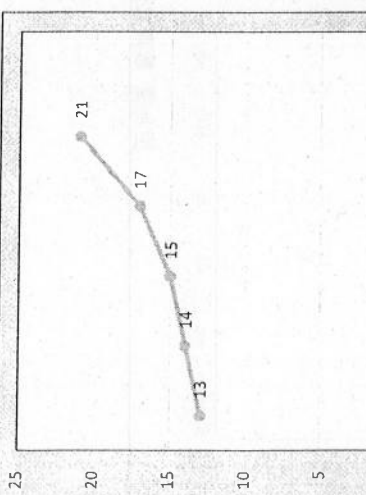
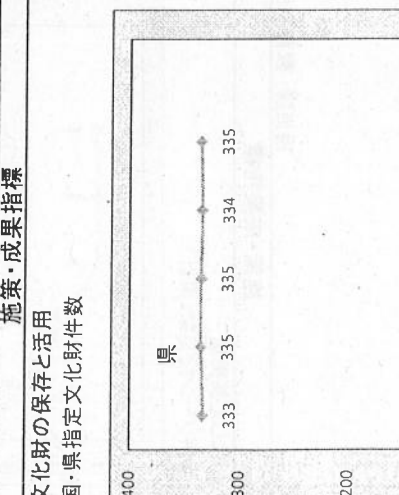
番号	66	推進項目	地域の教育に貢献する人材の育成	施策・成果指標	スキルを社会に還元する機会の充実 学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数及び活動の充実	事業目的	学校・家庭・地域が連携した地域の課題解決を支援するため、防災生涯学習を中心としたまちづくりのキーパーソンとして養成した「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を、小学校区に派遣する。 養成した「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を、学校・家庭・地域とをつなぐ役割を担うキーパーソンとして、牟岐町防災キャンプに7名、阿南市幼小中合同防災教育夏季研修会に7名、2箇所へのべ14名を派遣した。	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																	
						取組状況(H28年度分)	(単位：人) <table border="1"> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>14</td> <td>41</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td></td> <td></td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> </tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	14	41	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実			スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																	
14	41	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実			スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実																	
						評価	(成果) 地域の防災、減災をテーマとして、地域住民および児童・生徒とともに「避難所設営」「非常食調理」「防災紙芝居」などの実践的な研修活動を支援することで、世代間交流を図ることができた。 (課題) スペシャリストの自主的な活動の支援が必要。																		
						今後の取組方針	スペシャリストの自主的な活動についてサポートしていく。																		

番号	67	推進項目	多様なニーズに対応した学習機会の提供	基本方針4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現	施策・成果指標	学習支援体制の充実 マナビイセンターの利用者数	事業目的	マナビイセンターは、本県の生涯学習の拠点として、生涯学習推進の場を提供するとともに、各種研修や講座の開催により、県民のライフステージに応じた多様な学習機会の場を提供する。																	
						取組状況(H28年度分)	マナビイセンター内の「図書コーナー」や「視聴覚ライブラリー」等の6つのコーナーの機能を十分に生かせるような運営に努めた。特に、利用者の利便性を考慮した書籍の配置換えや模様替えを適宜行った。また、来所者の増加に繋がる情報発信も定期的・積極的に行なった。 (単位：人) <table border="1"> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>46,877</td> <td>48,069</td> <td>49,997</td> <td>50,819</td> <td>52,875</td> <td></td> <td>103.7%</td> <td>51,000</td> <td>52,000</td> </tr> </table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	46,877	48,069	49,997	50,819	52,875		103.7%	51,000	52,000
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																	
46,877	48,069	49,997	50,819	52,875		103.7%	51,000	52,000																	
						評価	(成果) 購入した図書や視聴覚教材の周知や各月のおすすめ図書・おススメビデオ・DVDを広報し貸出数の増加に努めるとともに、県民のニーズに合わせた主催講座の新規開講等によるまなびいルームの利用者増加など、一定の成果を上げることができた。 (課題) 限られた予算を有効に活用するため、利用状況に応じた需要の高い図書や視聴覚教材の購入を図る必要がある。また、新規の図書や視聴覚教材については、積極的に広報をしていく必要がある。さらに、毎年新しい講座を開講し、受講生の裾野を広げることにも必要である。																		
						今後の取組方針	図書コーナーや視聴覚ライブラリー、交流コーナー、まなびいルームなど、マナビイセンターの機能を十分に生かした運営をこれまでも以上に推進するため、マスコミを積極的に利用した広報活動を展開するとともに、チラシ等の配布方法にも工夫を加えることで、主催講座や親子で楽しむ映画会の参加者増加、図書や視聴覚教材の利用者増加などに繋げていく。																		

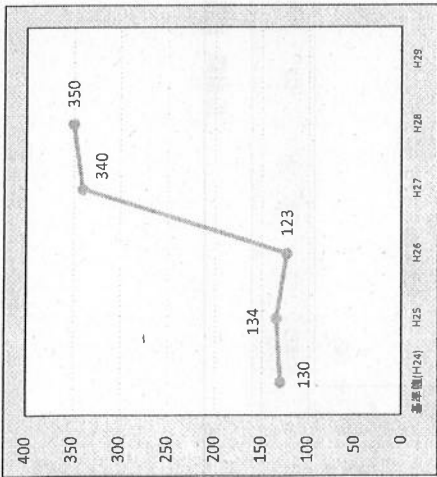
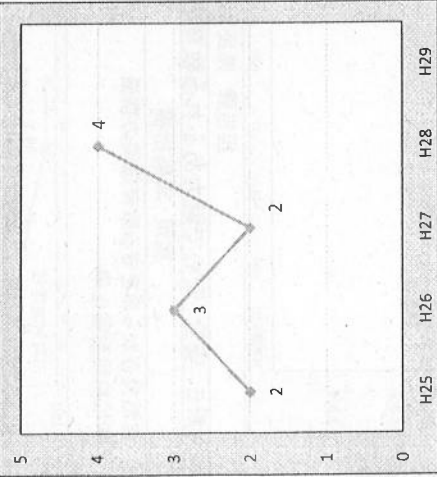
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
68	学びの環境の充実	文化の森総合公園文化施設の充実 文化の森総合公園文化施設入館者総計(累計) <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,702</td> <td>1,839</td> <td>1,909</td> <td>1,989</td> <td>2,082</td> <td>2,045</td> <td>101.8%</td> <td>2,045</td> <td>2,125</td> </tr> </tbody> </table>	標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	1,702	1,839	1,909	1,989	2,082	2,045	101.8%	2,045	2,125	<p>文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会の充実を図り、多くの県民に足を運んでいただける新鮮で魅力ある事業を実施する。</p> <p>平成28年度は、「トクシマ恐竜展」や「バルギ一近代美術の精華展」を開催したほか、文化の森各館において様々な企画展や多くの県民に親しまれるイベント等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 博物館 企画展 3回 特別陳列 1回 近代美術館 特別展 2回 鳥居龍藏記念博物館 企画展 1回 季節イベントとして、「文化の森 こどもの日フェスティバル」、「文化の森サマーフエスティバル」、「文化の森大秋祭り!!」、「文化の森ウィンターフェスティバル」を開催 <p>(単位: 万人)</p> <p>(成果) 魅力的な企画展やイベントを実施し、多くの来館者を集めることができた。特に幅広い世代に人気のある恐竜に焦点をあてた「トクシマ恐竜展」(7/15~9/19)は6万人以上の来館者を集める人気の企画展となり、平成28年度は過去最多の入館者数となった。</p> <p>(課題) 学術的、専門的活動に基づく資料の収集、展示を引き続き実施するとともに、多様な文化を発信するための、より魅力ある手法の開発が必要である。</p>
標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
1,702	1,839	1,909	1,989	2,082	2,045	101.8%	2,045	2,125													
69	学びの環境の充実	生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H25)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53,793</td> <td>64,982</td> <td>64,982</td> <td>56,919</td> <td>55,000</td> <td>103%</td> <td>55,000</td> <td>55,000</td> </tr> </tbody> </table>	標準値(H25)	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	53,793	64,982	64,982	56,919	55,000	103%	55,000	55,000	<p>生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数</p> <p>平成28年度の徳島県生涯学習情報システム改修により、システムがCMS化された。同時にホームページのアクセス解析を「Awstats」から「Google Analytics」で行うようになり、ブラウザや端末の種類別にアクセス状況を把握できるようになった。</p> <p>(単位: -)</p> <p>(成果) 県内各地の講座・イベント情報をスムーズに提供でき、アクセス回数も安定してきたことで、目標値を達成することができた。</p> <p>(課題) ホームページの構成がやや複雑であることやホームページデザインの老朽化のため、ホームページをリニューアルパソコンやタブレット、スマホ、従来型携帯電話等の端末からのアクセス解析を行い、端末の特性に応じた情報提供を心がけることで、年齢的・身体的条件にかかわらず情報が取得できる「ウェアラブルデバイス」に配慮したホームページ作りを進めていく。</p>		
標準値(H25)	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
53,793	64,982	64,982	56,919	55,000	103%	55,000	55,000														

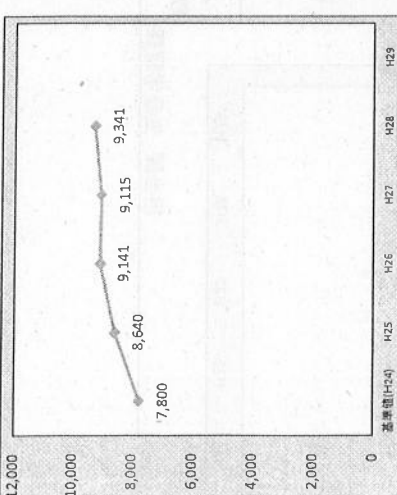
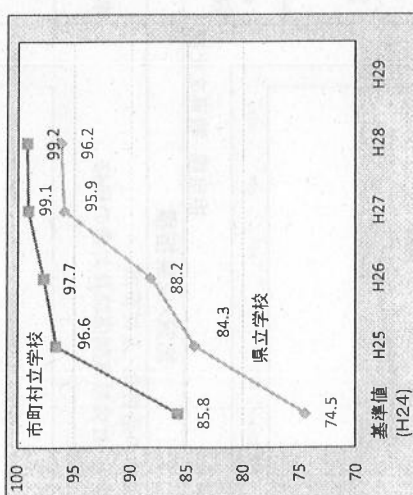
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針
70	学びの環境の充実	<p>ライフステージ等に応じた学習環境の充実 牟岐少年自然の家を拠点とし、地元住民との交流を含む自然体験・交流体験等への参加者数</p>  <p>基準値(H25) 100 H26 801 H27 801 H28 300 H29 800 達成率(H28) 267.0% 目標値(H28) 300 目標値(H29) 800 (単位：回)</p>	<p>事業目的 牟岐少年自然の家を体験活動の拠点として、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等を実施し、幅広く利用に努める。</p> <p>取組状況(H28年度分) 「ヘルスアップin牟岐」「もうすぐお正月」など、地域の住民や商工会、婦人会の協力により、地域の自然を活かした体験活動が行われ、県内各地から多くの人たちが参加した。</p> <p>評価 (成果) それぞれの事業に多くの関心が増えられ、毎年参加者が増えている。特に事業に参加した大学生たちが、牟岐の自然や地域の人たちのあたたかさに触れ、牟岐を拠点とした自主的な活動を展開するきっかけとなった。 (課題) 地域との関わりが実感できる体験活動が行われるよう、内容や日程の工夫を図っていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 参加者のアンケート等を参考にしながら、事業全体の評価・改善を図り、より効果的な事業を実施する。</p>
71	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	<p>担当課 生涯学習課 施策・成果指標 郷土とくしまに気づき学ぶ機会の充実 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の学校への講師派遣回数</p>  <p>基準値(H23) 53 H24 107 H25 116 H26 101 H27 103 H28 70 H29 70 達成率(H28) 147.1% 目標値(H28) 70以上 目標値(H29) 70以上 (単位：回)</p>	<p>事業目的 学芸員等専門職員が学校で出前授業を行うことにより、子供たちの郷土に対する理解を深める。</p> <p>取組状況(H28年度分) 学校からの依頼に応じて、講師を派遣した。 ・博物館 49回 ・文書館 5回 ・近代美術館 47回 ・鳥居龍蔵記念博物館 2回</p> <p>評価 (成果) 子供たちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができた。 (課題) 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の保有する資料を活用し、次世代を担う子供たちに対する郷土の学習を推進することが求められている。</p> <p>今後の取組方針 文化の森各館の所蔵する資料の貸出や学芸員等の講師派遣をより一層進め、学校教育との連携を強化する。</p>

推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
72	伝統文化の継承と活用 保存団体による継承・活用事業の開催への支援 担当課 教育文化課	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	<p>保存団体の活動を支援するなどして、県民が伝統文化に触れ、体験する機会を充実させ、本県が誇る伝統文化の継承と活用を図る。</p> <p>教育文化課に事務局を置く徳島県地域伝統文化総合活性化委員会が、次世代を対象に「阿波人形じょようり伝承教室」を開催した。また、重要無形民俗文化財「阿波人形浄瑠璃頭」に前活動で取り組む高校・中学校を活性化させるため、重要有形民俗文化財「犬飼の舞台」において「第1回ジュニア浄瑠璃フェスティバル」を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果)「阿波人形じょようり伝承教室」の継続実施により、伝統文化の次世代の担い手を育成することができた。「第1回ジュニア浄瑠璃フェスティバル」には、兵庫県の高校も出演し、県域を越えた交流を図ることができた。また、人形浄瑠璃に加えて、「阿波藍」に取り組む高校生の活動を「阿波藍ファッショントーク」として紹介することができた。</p> <p>(課題)「阿波人形じょようり伝承教室」「ジュニア浄瑠璃フェスティバル」等の開催は、伝統文化の継承としての成果はあげることができたが、今後、伝統文化の公開・活用を促進する手法の確立が求められている。</p> <p>国の「文化遺産総合活用推進事業」「伝統文化親子教室事業」等を活用し、伝統文化の継承・活用事業を継続する。特に「阿波人形浄瑠璃」や「藍染め」の次世代継承者による公開活用事業を推進し、より一層育成の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進	推進	推進	推進			推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	推進	推進	推進	推進			推進	推進													
73	伝統文化の継承と活用 ふるさと人材バンクの登録人数 担当課 教育文化課	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内の文化財や伝統文化に関する授業ができる方々に「ふるさと文化人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録人数の増加に努めるとともに、学校においてふるさと徳島の文化に触れる機会を増やすことで、ふるさとを愛し、将来徳島の魅力について県内外で発信できる次世代の創造をめざす。</p> <p>学校に「ふるさと人材バンク」の活用を周知するとともに、1年を通じて「ふるさと人材バンク」への追加登録に努めた。また、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>72</td> <td>69</td> <td>72</td> <td>75</td> <td></td> <td>102.7%</td> <td>73</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果)「ふるさと文化人材バンク」の登録者数の拡大に努め、学校への人材派遣事業でのバンク活用を薦めた結果、多くの方が学校での出前授業で活躍することができた。</p> <p>(課題)各学校の文化芸術活動が活性化されるよう多様な人材を確保し、周知に努める必要がある。</p> <p>「ふるさと文化人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、県内人材等と学校のニーズを把握しながら、新規の人材開拓に努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	60	72	69	72	75		102.7%	73	75
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
60	72	69	72	75		102.7%	73	75													

74 推進項目 文化遺産を活用した学びの場づくり	施策・成果指標 文化財の保存と活用 史跡等指定・選定数(追加指定を含む)	事業目的 国指定文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																			
 <table border="1" data-bbox="271 246 335 470"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>116.7%</td> <td>18</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>		基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	13	14	15	17	21	22	116.7%	18	22	1 「鳴門板野古墳群」が国史跡に指定され、「牟岐町出羽島」が重要伝統的建造物群保存地区に選定された。 2 国史跡「阿波遍路道」について、焼山寺道・一宮道(神山町)、恩山寺道・立江寺道(小松島市)、鶴林寺境内(勝浦町)、太龍寺境内(阿南市)、雲辺寺道(三好市)が追加指定された。	(成果) 関係市町と連携して取り組んだ結果、史跡では1件の指定と2件の追加指定、重要伝統的建造物群保存地区で1件の選定が実現した。 (課題) 国の指定・選定に向けた調査が終了したものの、住民の理解が得られなため、取組が停滞している事例がある。	今後の取組方針 取組が停滞している事例については、文化庁と連携し、市町村の取組を支援する。「阿波遍路道」については、総合政策課と協力し、市町村と役割分担のもとで文化財調査等を進め、着実に追加指定を進める。
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
13	14	15	17	21	22	116.7%	18	22														
75 推進項目 文化遺産を活用した学びの場づくり	施策・成果指標 文化財の保存と活用 国・県指定文化財件数	事業目的 国指定・県指定等の文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																			
 <table border="1" data-bbox="941 246 1021 470"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>333</td> <td>335</td> <td>335</td> <td>333</td> <td>335</td> <td>338</td> <td>103.1%</td> <td>96</td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table>		基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	333	335	335	333	335	338	103.1%	96	101	(成果) 国指定は目標に到達し、適切に文化財を保存することができた。県指定は目標に到達しなかったが、県史跡が国史跡に上位指定されたことにより2件を解除したことによるもので、4件を新指定し、成果を上げることができた。	(課題) ・国の指定・選定については、調査が終了したものの、住民の理解が得られなため、取組が停滞している事例がある。 ・県指定については、文化財保護審議会委員の調査を経て審議が必要で、指定まで時間を要する。 ・国の指定・選定については、文化庁と連携し市町村の取組を支援する。 ・県指定については、文化財保護審議会委員との日程調整により、迅速な指定に努める。 ・国、県指定とも、市町村や所有者と協力し、活用を図る。	今後の取組方針 取組が停滞している事例については、文化庁と連携し、市町村の取組を支援する。「阿波遍路道」については、総合政策課と協力し、市町村と役割分担のもとで文化財調査等を進め、着実に追加指定を進める。
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
333	335	335	333	335	338	103.1%	96	101														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
76	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 文化財防災対策の実施	<p>南海トラフの巨大地震等の災害から、貴重な文化財を守る。</p> <p>事業目的</p> <p>近畿圏危機発生時の相互応援に関する基本協定に基づく文化財建造物の被災調査に関する要綱の改正検討会において、文化財所有者に対し防災・防犯に関する注意喚起を文書等により行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>文化財個別マップの作成</td> <td>文化財個別マップの作成</td> <td>文化財個別マップの作成</td> <td>文化財防災対策の充実</td> <td>文化財防災対策の充実</td> <td>—</td> <td>文化財防災対策の充実</td> <td>文化財防災対策の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 被災時の調査について建造物以外の文化財にも拡大することで文化財全般についての被害状況の把握と保全・復旧に対する備えを考えることができた。</p> <p>(課題) 台風が本県に上陸・接近したとき等、市町村に被害報告を求めているが、報告がない市町村があるなど、文化財防災について市町村に温度差がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風など文化財の被害が予想される際、報告を徹底することから、市町村担当者の文化財防災意識を高める。 ・市町村教育委員会、文化財所有者と協力し、文化財防災対策を進めていく。 	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	文化財個別マップの作成	文化財個別マップの作成	文化財個別マップの作成	文化財防災対策の充実	文化財防災対策の充実	—	文化財防災対策の充実	文化財防災対策の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	文化財個別マップの作成	文化財個別マップの作成	文化財個別マップの作成	文化財防災対策の充実	文化財防災対策の充実	—	文化財防災対策の充実	文化財防災対策の充実													
77	文化遺産を活用した学びの場づくり	いにしえ夢街道 活用ゾーン設定数(累計)	<p>担当課 教育文化課</p> <p>施策・成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100.0%</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：ゾーン)</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内で整備事業を実施または計画している国指定史跡や県・市町村史跡及び、周辺の様々な指定文化財や埋蔵文化財を含む未指定文化財を結び、これを夢のストーリーを持つ「群」として位置づけ、各地の博物館、資料館等とリンクさせることにより活用価値を高め、文化財を活かした地域振興に寄与する。</p> <p>1. 勝浦町・阿南市活用ゾーンの主題である「通路道」周辺の史跡の活用を図るため、阿南市若杉山遺跡を題材に講演会「朱の考古学 part II」を開催した。また、阿南市加茂町において地域展を実施した。</p> <p>2. 各ゾーン間の連携を図るため、活用ゾーンを冠する「通路道」を舞台に「通路道ウォーキング」を実施しているが、今年度は、小松島市の「恩山寺・立江寺道」においてウォーキングイベントを開催した。</p> <p>(成果) 既設定ゾーンの活用を図るとともに、各ゾーンをつなげる取組である「通路道ウォーキング」を実施することができた。</p> <p>(課題) 各市町村が進めるゾーン内の史跡等の活用を支援するとともに、地域連携により広域の文化財の活用を図っていく。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>地震津波碑など、広域に分布する同様の文化財を一括して活用を図るため、シンポジウムやウォーキング等を開催する。</p> <p>担当課 教育文化課</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	6	7	8	8	8	8	100.0%	8	8
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
6	7	8	8	8	8	100.0%	8	8													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針												
78	文化遺産を活用した学びの場づくり	<p>いにしえ夢街道 いにしえ講演会参加人数</p>  <p>基準備(H24) H25 H26 H27 H28 H29</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基準備(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>340</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>達成率(H28) 233.3%</p>	基準備(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	130	134	123	340	350	150	<p>事業目的 県内の史跡・文化財についての講演会を開催することによって、史跡・文化財の総合的な活用を図り、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進める。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>勝浦町・阿南市活用ゾーンの主題である「通道路」周辺の史跡の活用を図るため、阿南市若杉山遺跡を題材に講演会「朱の考古学するpartⅡ」を開催した。また、阿南市加茂町において地域展を実施した。県立埋蔵文化財総合センターでは「四国通路与渦潮展」、「先人からのメッセージ南海地震津波碑展」を実施し、幅広い文化財を対象に利用促進を図った。</p> <p>評価</p> <p>(成果)「いにしえ夢街道」活用ゾーン内の関連史跡の情報発信を促進することができ、文化財保護意識の向上や地域資源としての文化財の活用につなげることができた。</p> <p>(課題)通道路や地震津波碑等、「活用ゾーン」を越えて広域にわたる文化財を利用した事業を企画し、「活用ゾーン」間の連携を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>地震津波碑の登録を記念したシンポジウムを実施するなど、これまでに活用が少なかった県南ゾーンを含め、より広域での活用を進める。</p>
基準備(H24)	H25	H26	H27	H28	H29										
130	134	123	340	350	150										
79	学び続ける場と機会の充実	<p>各種団体の活性化・人材育成 生涯学習・社会教育関係職員対象の研修</p>  <p>基準備 H25 H26 H27 H28 H29</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基準備</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>達成率(H28) 200.0%</p>	基準備	H25	H26	H27	H28	H29	—	2	3	2	4	2	<p>事業目的 市町村教育委員会の生涯学習及び社会教育担当者や社会教育指導員を対象とした研修会や事業説明会を実施し、職員のスキルアップを図るとともに、県と市町村の連携を強化する。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>徳島県社会教育研修大会での活動実践事例をもとにしたワークショップにより、社会教育推進の機運を高め、ネットワークづくりにつながった。 また、社会教育フェアシリテーターを養成するとともに、市町村教育委員会担当者に対し、国の動向や県の施策について研修会を開催した。</p> <p>評価</p> <p>(成果)県内の社会教育委員や社会教育関係団体等の参加があり、多様な活動について、意見・情報の交換を進めたことで、参加者の意識向上が図られた。また、社会教育担当職員の資質向上と情報の共有化が図られた。</p> <p>(課題)市町村の社会教育関係職員および社会教育関係者のネットワークをさらに強化し、地域での取組推進や新たな連携につなげていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>県内の社会教育委員、社会教育関係者等を対象とした研究大会への参加者の拡大と、内容の更なるブラッシュアップを行う。</p>
基準備	H25	H26	H27	H28	H29										
—	2	3	2	4	2										

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																
80	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの充実 総合型地域スポーツクラブ会員数 	スポーツを活用し、地域の様々な課題を解決するため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援するとともに、誰もが楽しめる生涯スポーツの普及を図るものである。 総合型地域スポーツクラブの創設・運営及び活動内容に関する指導・助言を行うとともに、総合型クラブにおける健康の保持・増進のためのプログラム作成及び普及、市町村との連携によるスポーツ実施率向上に向けた取組支援、競技団体との連携による子どもたちのスポーツ体験機会の創出等を行った。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,800</td> <td>8,640</td> <td>9,141</td> <td>9,115</td> <td>9,341</td> <td>9,341</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H28)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>84.2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 住民ニーズに対応し、魅力的なクラブ運営を行うために必要な人材を育成するとともに、クラブの提供するプログラムやスポーツ体験機会の充実が図られた。 (課題) 総合型地域スポーツクラブの認知度向上に向け、活動状況等をPRする必要がある。 総合型地域スポーツクラブの地域コミュニティの拠点としての機能強化を図るため、市町村、学校、競技団体等と連携した体制づくりを促進するとともに、多面的な視点で総合型地域スポーツクラブの定着と発展を図る。	(単位：人)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	7,800	8,640	9,141	9,115	9,341	9,341						達成率(H28)						11.100						84.2%						目標値(H29)						12,000
(単位：人)																																																			
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																														
7,800	8,640	9,141	9,115	9,341	9,341																																														
					達成率(H28)																																														
					11.100																																														
					84.2%																																														
					目標値(H29)																																														
					12,000																																														
基本方針5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現 担当課 県民スポーツ課 施策・成果指標			事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																
81	安全・安心なとくしまの学校づくり	自然災害から命を守る教育環境の整備 学校施設耐震化率 	公立学校は、その多くが災害時の避難場所指定されており、地震発生時の児童・生徒の安全確保はもろろんのこと、地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから、全ての学校施設の耐震化を計画的に推進する。 H28年度、県立高校では、新野高校において、体育館の耐震改修が完成した。小中学校では、鳴門市、三好市において、耐震改修事業等を実施した。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74.5</td> <td>84.3</td> <td>88.2</td> <td>95.9</td> <td>96.2</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H28)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>96.2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 耐震化事業を計画的に実施した結果、平成29年4月1日現在の耐震化率は、公立学校全体で98.2%となり、著実に耐震化を進めている。(残り23棟 県新野高校11棟、鳴門市5棟、阿南市4棟、三好市1棟、美波町2棟) (課題) 県立高校については、再編に併せた計画的な耐震化、小中学校については設置者による耐震化整備計画について、早期の確定が必要となっている。 早期の公立学校耐震化率100%に向けて、残り1校の新野高校の耐震化を学校再編に併せてH30までに実施し、小中学校については、設置者に対して継続して指導・助言を行うとともに、コスト削減を図りながら、耐震化と併せて施設の老朽化対策にも取り組む。	(単位：%)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	74.5	84.3	88.2	95.9	96.2	96.2						達成率(H28)						100						96.2%						目標値(H29)						100
(単位：%)																																																			
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																														
74.5	84.3	88.2	95.9	96.2	96.2																																														
					達成率(H28)																																														
					100																																														
					96.2%																																														
					目標値(H29)																																														
					100																																														